

# 大きなイモ掘れて歓声

名張・国津小児童

名張市立国津小学校の全児童約40人が7日、学校近くの畑でサツマイモ掘りを体験した。自然とのふれあいを重視する同校が地元の農業グループ「自然農園お



り」と(井上雅英代表)に依頼。児童はサツマイモを掘り出し、「あったよ」と歓声をあげていた。写真。

サツマイモ畑は25畝四方。おりのメンバー10人が6月に60株を植え、無農薬で育ててきた。児童は2列に並んで最初はスコップで掘り進め、サツマイモが見えてくると、傷をつけないよう手で丁寧に土をかき

出し、次々と取り出した。サツマイモは児童全員で分配し、家へ持ち帰った。4年の奈良壮馬君(9)は「大きいのが出てきた時はうれしかった。焼きイモにして食べたい」と話していた。

## 泥まみれで収穫 休耕田で芋掘り

国津小児童

名張市神屋の小規模特認校、国津小学校(雪

岡正明校長、41人)の全校児童が7日、近くの休耕田を利用した畑でサツマイモ掘りをした。

農業や園芸に親しんでもらおうと、地区住民でつくる「自然農園



サツマイモを掘る子どもたち一名張市で

おり」と(井上雅英代表)の協力で、毎年行っている。

今年には猛暑などによる天候不順のため、芋を履き、泥まみれにはやや小ぶりだった。が、子どもたちは長靴を履き、泥まみれにならな

た。収穫した芋は家に持ち帰ったり、給食で食べるという。6年の柿坂龍之介君(11)は「楽しい。天ぷらにして食べたい」と話した。おりとでは今後、もみからで竹炭を焼いたり、キウイフルーツを収穫する体験を予定している。

【宮地佳那子】

毎 日 新 聞

伊賀 2010年(平成22年)10月8日(金)